

發育性股關節形成不全



子ども達に「勇氣、夢として笑顔」を

発育性股関節形成不全とは

股関節がはずれたり、はずれかかったりする病気で、完全にはずれている**完全脱臼**、関節がはずれかかっている**亜脱臼**、股関節の屋根にあたる部分の発育が悪いために起こる**股関節臼蓋形成不全**の3種類があります。



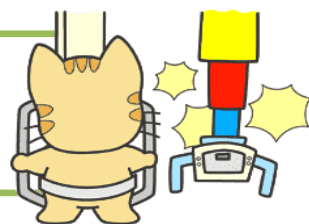
1 か月検診や、3・4 か月健診で発見されることが多く、

- ・ 左右の太もものしわの数が違う
- ・ 左右の足の長さが違う
- ・ 両足の開きが悪い
- ・ ひざを曲げた状態で股を広げる時にクリッという音がする

などの症状があります。

診 断

股関節が脱臼しているかどうかはエコーやレントゲン検査をして調べます



治 療

股関節がはずれている場合やはずれかかっている場合は、治療用の装具をつけます。

この装具は

リーメンビュージェルといい、脚を M 字に保護する装具です。

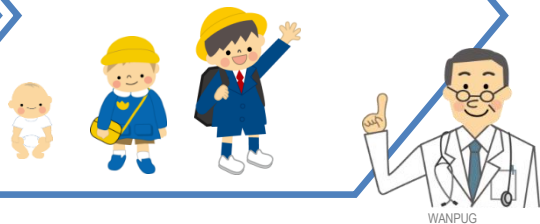


このバンドが
リーメンビュージェル

リーメンビューゲルの
装具で治らない場合は、

入院による 1~2 ヶ月間の
牽引と、その後にギブス
固定を行います。

整復後も成長終了するまでの間は
経過観察を行いますので、
定期的な外来受診が必要です。



オムツ替えや抱っこ時には**注意!!**

- ・赤ちゃんの脚が常に **M 字**に開いているように注意しましょう
- ・オムツや衣服で赤ちゃんの脚を包み込まないように注意しましょう
- ・オムツを替えるときは、足を持って持ち上げるのではなく、お尻に手を入れて持ち上げましょう。
- ・抱っこの時は、赤ちゃんの股下に手をいれてお尻をささえ、足が閉じないようにしましょう。





地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪母子医療センター

＜整形外科＞

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605